

ふじのみや 体協だより

第21号

発行 富士宮市体育協会
〒418-0007 富士宮市外神東町115
市民体育館内
☎0544-58-7799
発行人：石川俊秋 印刷：フジ印刷(株)



第39回 富士宮市民スポーツ祭 総合開会式・優秀区表彰式

「市民ひとりスポーツ」の実践をめざし、昭和五十五年から毎年行われて来ました市民スポーツ祭は、今年で三十九年目を迎えました。

競技は、三〇種目を行い五月から二月まで実施されます。

開会式に先だって富士宮吹奏楽団の演奏のもとに、体協加盟三十一の競技団体が各連盟旗を先頭に堂々と入場行進を行いました。

総合開会式では、前年度の優秀区の青木区、淀師区(大規模区)、野中二区(中規模区)、半野区、安居山二区(小規模区)が表彰されました。

選手宣誓は、安居山二区区長の芦原博さんが代表して、「市民スポーツ祭に積極的に参加し、正々堂々とプレーしていくことを誓います。」と力強い宣誓をしました。

富士宮市体育協会平成三十年表彰式並びに新年を祝う会

富士宮市体育協会表彰規定に基づき、平成三十年表彰式並びに新年を祝う会が一月二十七日に、花の湯に於いて行われました。功労賞は、石川博義氏(バドミントン)、角谷泰子氏(バドミントン)、が受賞しました。

優秀指導者は、橋村晃氏(柔道)、佐野忠信氏(スケート)が受賞しました。

又優秀チームとして、全国中学校体育大会バドミントン大会団体男子の部でベスト8の星陵中学校男子バドミントン部が表彰されました。

優秀選手として、日本マスターズ柔道大会3位の小松裕樹選手、陸上競技選手権大会女子800m4位の朝日春瑠選手、全日本実業団対抗陸上競技選手権大会男子800m4位の矢部泰志選手、東海高等学校総合体育大会男子走り高跳び優勝の松井大地選手、国際クラス別パラリンピック卓球選手権大会ベスト8の石川恵子選手、国際クラス別パラリンピック卓球選手権大会優勝の土井健太郎選手、国民体育大会少年男子2位の渡井丈人士選手、全日本シニアソフトテニス選手権大会3位の松本登志雄選手、石田秀明選手、全日本シニアソフトテニス選手権3位の長谷川三世子選手、全日本



シニアソフトテニス選手権大会ベスト8の遠藤広美選手、全日本シニアバドミントン選手権大会2位の佐野明彦選手、東海高校総合選手権バドミントン大会優勝の小野田泰地選手、全国中学校体育大会ベスト8の早川倫矢選手、影山幸紀選手、小学生相撲木曾大会4年女子の部優勝の篠原来瞳選手、わんぱく相撲全国大会4年生の部5位の武井銀士選手、に優秀選手賞を授与しました。

新年を祝う会には、加盟団体の代表、地元選出国会議員や県議員、市議会議長等来賓など、二六〇名が出席し、新しい年を祝う本年の活躍を誓いました。

賛助会員の皆様へ

平成二十九年度に会員になられた方は、法人、個人併せて百四十六会員、賛助会費総額百九十五万円でした。ご協力いただきました賛助会費は体育協会会計歳入の部へ計上させていただきます、以下のような目的で支出させていただきます。

支出の主なものは、加盟三十団体への助成金として百七十五万一千円、中体連全国大会出場助成に六万円、近江八幡駅伝大会参加選手団への助成として二万円、スポーツ少年団育成のための助成として三十万円、国体出場選手激励金として十二

万円、パラリンピック等に五万円を充当させていただきますました。平成二十九年度事業も皆様の多大なるご理解とご協力により行うことができしました。今後とも、スポーツの普及、振興と競技力の向上及び加盟団体の更なる発展のため努力してまいりますので、ご協力賜りますようお願いいたします。

NPO法人富士宮市体育協会加盟競技団体会長及び社員

Table with 4 columns: 競技団体名, 会長名, 社員名, 住所. Lists various sports associations and their members with their respective addresses in Fujiyama City.

第39回富士宮市民スポーツ祭種目別開催予定

Large table listing event categories (e.g., 総合開会式, 水泳, スケート) and their scheduled dates and venues.

※申し込み方法等は、大会実施要項(5月12日発行)をご覧ください。要項は、スポーツ振興課(市役所)及び市民体育館にあります。

※問い合わせ先 教育委員会教育部 スポーツ振興課 TEL 22-1190 FAX 22-1242

各連盟・協会からの報告

陸上競技協会

第18回 静岡県市町 対抗駅伝競走大会

第18回静岡県市町対抗駅伝競走大会が、平成29年12月2日(土)39チーム(市の部27チーム、町の部12チーム)の参加で開催されました。本年度より、小学生区間が3区間(昨年度まで2区間)となり、底辺の拡充が図られました。

富士宮市は、過去最高順位(第14回・15回)の7位を上回ることを目標に、佐野友信新監督のもとコーチ・選手が一丸となり、個人・チーム力の向上をめざして7月より毎週練習会を行い、大きな力を付けてきました。結果は、目標とし



ていた順位には届きませんでした。昨年度のタイムを21秒も上回る2時間19分3秒でゴールしました。十分満足できるタイムであり、昨年度を1つ上回る13位となりました。例年、常に上位入賞する浜松勢3チームに加え、他市のレベルが非常に向上しており、富士宮市としては、選手の発掘と同時に数年先を見通した選手の育成を行っていかなくてはならないと痛感しました。

1区(中・高校生女子)に中学1年生ながら抜群の力を有する藤田咲良選手(北山中1年)を起用しました。1区はほとんどが高校生でしたが、持ち前の粘りで19位でタスキをつなぐと、選手1人1人が持ち味を発揮し、徐々に順位を上げていきました。その中でも、2区(小学生男子)の渡邊莉玖選手(富士根南小6年)が区間9位、4区(中・高校生女子)朝日春瑠選手(富士市立高校3年)が区間2位、11区(中・高校生男子)の望月武選手(富士宮西高2年)が区間9位と健闘しました。

選手への厚いサポートをしていただいた本市及び市民の皆様は、温かなご声援・ご協力に心より感謝いたします。

平成30年度の静岡県市町対抗駅伝競走大会は、12月1日(土)に開催されます。監督・コーチをはじめとして陸上競技協会スタッフ、精一杯選手の指導・支援をしていきますので、市民の皆様は温かなご声援・ご協力をお願いいたします。

第5回 富士山女子 駅伝(全日本大学女子 選抜駅伝)競走大会

第5回富士山女子駅伝が、平成29年12月30日(土)に開催されました。この大会には、全日本大学女子駅伝で上位入賞した20チーム(含む東日本選抜、西日本選抜)と、静岡県選抜チームの計21チームが出場しました。大会当日は好天に恵まれ、多くの市民の皆様、そして雄大な富士山に見守られ、21名の選手が浅間大社をスタートし、集団で富士宮市を駆け抜けて行きました。

過去4年間は、立命館大学の圧勝の4連覇でした。しかし、本年度の全日本大学駅伝では、名城大学が優勝し、優勝候補筆頭に名乗りをあげました。

レースは、1区では、上田選手(城西大)がみごと1位でタスキをつなぎましたが、10秒以内で10校がタスキをつなぐ大混戦となりました。前回まで無敵だった立命館大は、トップと12秒差の13位でタスキをつなぐと、2区佐藤選手が区間新記録の走りで一気にトップに躍り出ると、王者立命館大が独走態勢に入り5連覇が期待されました。しかし、大東文化大、名城大、東京農大が徐々に差をつめ、最終区である7区での逆転劇を予想させる展開となり、沿道を埋め尽くした皆様の声援にも力が入っていました。優勝は、追いつがる3校を振り切った王者立命館大学であり、5連覇という偉業をなしとげました。2位には年々力を付けている東京農業大学、3位に名城大学が入りました。

この大会運営がスムーズに行われた裏には、富士宮市役所・体育協会等の諸機関の皆様、ボランティアの皆様、そして、市民の皆様が温かなご声援があったからです。皆様のご協力を得て、富士宮市陸上競技協会は大役を果たすことができました。心より感謝いたします。

第38回 富士宮市民 スポーツ祭

①第46回 富士宮市民 陸上カーニバル

平成29年9月18日(月)祝、第46回富士宮市民陸上カーニバルが、富士総合運動公園陸上競技場で開催されました。早朝から気温が

高く、参加選手の体調管理が心配されましたが、大きく体調を崩した選手もなく、無事大会を終了できました。大会には、小学生、中学生、高校生、一般の部に約30名の選手が出場し、盛大に行われました。年々、小学生の参加が増えており、記録への挑戦、仲間と競走する楽しさ等を味わいながら、必死で走っている姿が印象的でした。陸上競技人口の底辺拡充を目指している陸上競技協会にとってはありがたいことです。中学生においては、自校に陸上競技部がないため、他の部活に入りながらも、この大会に参加し活躍する生徒も少なくありません。

また、この大会の長距離種目では、静岡県市町対抗駅伝競走大会の選手選考も兼ねており、どの部門もハイレベルなレース展開となりました。一般の部においては、昨年以上に市民ランナーの出場者も多く、歯を食いしばって自己記録に挑戦している姿に感動を覚えました。

この大会は、富士宮市陸上競技協会を中心として、富士市陸上競技協会、富士宮市中体連、市内高校陸上競技部等の協力を得て運営ができています。ご協力に感謝いたします。

毎年、この大会が、全天候のすばらしい陸上競技場で開催できることに感謝し

ております。しかしながら、市民スポーツ祭を他市で開催することや交通事情等に課題もあります。全ての運動の基本は走ることです。市民1スポーツを目指している本市にとって、市民の皆様が集い、体力づくりやレクリエーションに活用できる陸上競技場の設立は市民の皆様は温かなご声援・ご協力をお願いいたします。

第52回 市民区対抗
駅伝競走大会

第52回市民区対抗駅伝競走大会が、10月15日(日)山宮スポーツ公園で18区の参加を得て開催される予定でしたが、雨天のため、選手等の体調に配慮し中止となりました。第53回市民区対抗駅伝競走大会は、平成30年10月21日(日)に開催されます。各区・区民の皆様は積極的に参加をお願いします。

第64回 近江八幡 駅伝競走大会

平成30年1月14日(日)、夫婦都市である滋賀県近江八幡市において、第64回近江八幡駅伝競走大会が開催される予定でしたが、前夜からの積雪のため残念ながら2年連続の中止となりました。(富士宮市からの派遣チームは、一般の部・富士宮教員レインボー、中学の部男子・富士根南中学校、中学の部女子・北山中学校)

この大会は、富士宮市陸上競技協会を中心として、富士市陸上競技協会、富士宮市中体連、市内高校陸上競技部等の協力を得て運営ができています。ご協力に感謝いたします。

野球連盟

富士宮野球連盟の活動及び、平成二十九年度、第三十八回市民スポーツ祭の大会結果報告を致します。

恒例の総会を、平成三十年二月二十四日、クリスタルホールパテオンにて開催され、平成三十年度の事業計画及び、予算が承認されました。

総会では、今回、役員改選が行われ、新少年部長に伊藤典人氏、新早朝部長に太田智之氏が承認され任期二年の野球連盟の新体制が始まりました。

平成二十九年度表彰者個人の部
支部四十五年表彰 小野里

正、渡辺房男。
支部四十年表彰 西田康二、井出等。

県連三十年表彰 長谷川修治、佐野芳彦。

県連二十五年表彰 桑原稔。

県連二十年表彰 須藤秀忠、山崎好信、井出明行。

県連十年表彰 新井善博。
平成二十九年度 特別表彰チーム

大場機工(株)野球部、(株)丸芳と発表されました。

平成二十九年度事業として、第三十八回市民スポーツ祭が行われました。区対抗の部 優勝 淀師区、準優勝 外神区。高校の部 優勝 私立星陵高校、準優勝

勝 県立富士宮東高。中学の部 優勝 フジヤマBBC、準優勝 富士宮第一中学校。学童の部 優勝 リトルイースト、準優勝 富士宮ダイナマイツ。

富士宮野球連盟では、毎年、学童からOB、一般のチームまで多くの大会を企画しております。本年度も、たくさんの市民の皆様にご参加と、御活躍を期待したいと思います。

役員であるすべてが、心一つにして、富士宮市の野球発展のため、又、感動ある大会となる事を目指し、努力していく所存です。

今後も皆様の御理解御協力をお願い致します。

卓球連盟

3月開催された理事会において、稲葉会長が再任されました。

本年度も、会長以下役員一同、卓球競技普及のため、全力で頑張っております。

市民体育館の改修工事も3月には終了し、リニューアルされた体育館で、4月14日に富士地区中学生新人卓球大会、15日に第51回静岡県ろうあ者体育大会卓球競技の部、28日に、富士地区中学校対抗卓球大会を

開催しました。この体協だよりが皆様のお手元に届くころには、5月に市民スポーツ祭個人の部、6月に市民スポーツ祭区対抗の部、7月に会長杯、8月に富士地区中学生学年別卓球選手権大会、10月に富士宮卓球祭、富士宮地区中学校対抗新人卓球大会も開催されていると思います。その後も、12月に富士宮市制施行記念卓球大会、2月に富士地区中学新人卓球大会、3月に

富士宮卓球選手権大会を開催してまいります。市民をはじめ、より多くの参加者を得て盛大に開催していくため、富士宮卓球祭、富士宮選手権大会も会長杯同様、本年度からオープン大会として開催していく予定です。また、市民の皆様のご健康づくりを目的として開催される、市教育委員会主催のスポーツ教室・夜の卓球教室の指導も行っていきます。本年度から、高齢者や初心者により手軽に取り組むことができる、ラージボールクラスも取り入れながら、

剣道連盟

平成29年度総会が平成30年3月25日(日)に開催され、平成29年度事業報告・会計報告と平成30年度事業計画・予算が承認され、新事業として本年度より中学の顧問先生方及び中学生のアンケート結果から中学生を対象とした剣道教室を開催することになり、中学剣道の普及と中学生の教育の一環と位置付けることとしました。なお、3月に三浦健志理事長が急逝され、理事長補佐の岩瀬紀彦が新理事長になりました。

剣道連盟としては、伝統を重んじ一層発展させて行きたいと考えておりまして、

市民の皆様が卓球を通じて健康づくりが図れるよう努力して参りますので、皆様のご理解ご協力よろしくお願ひします。

1年間を通じての主な行事は、剣道連盟会員による富士宮剣道選手権、剣道級位審査会、富士宮市民剣道大会、技術向上の伝達講習会及び小・中学生を対象とした基本技習得の初心者講習会があります。また、本年も富士宮市剣道連盟と合同で行う静岡県剣道連盟派遣講師による剣道指導講習会が8月に予定されています。このような行事を通して、会員相互の融和を計り活動を行っております。

稽古は会員中心に毎週、火曜日、木曜日、土曜日に富士宮市民体育館武道場で自己の修練と剣道普及を目指し、少年・少女の剣士育成のために毎週、火曜日と土曜日は午後6時30分より8時まで指導にあたっております。その後、一般会員は9時過ぎまで稽古を行っています。

この他にも市内には剣道連盟傘下の少年・少女を対象に剣道指導及び一般会員稽古を行っている団体が、芝川スポーツ少年団、剣湧会、文武館、上井出スポーツ少年団と4団体あり、子供の大会も各団体主催で年間定期的に3つの大会があります。

「本年度の主な事業内容」
4月29日(祝)日本剣道形指導

者講習会、第7回富士宮選手権大会
5月6日(日)小中学生を対象に初心者講習会(木刀による基本法、日本剣道形)
6月3日(日)剣道級位審査会
6月10日(日)剣湧会少年剣道大会
7月15日(日)中体連剣道大会
8月11日(土)少年夏期錬成会
8月26日(日)静岡県剣道連盟派遣講師「指導法」講習会
9月9日(日)第64回富士宮市民剣道大会
10月14日(日)剣道級位審査会
10月28日(日)芝川少年剣道大会
11月3日(祝)富士宮少年剣道大会
11月25日(日)中学新人剣道大会
12月27日(木)稽古納め
1月2日(土)芝川剣道スポーツ少年団初稽古会
1月3日(日)富士宮剣道連盟初稽古会(浅間大社参拝後)
2月18日(日)剣道級位審査会



少年夏期錬成会

ソフトテニス協会

平成三十年度総会が二月二十四日(土)に駅前交流センター「きらら」にて、各クラブ事業所理事と協会役員の出席のもと開催され、二十九年度事業報告ならびに決算報告、三十年度の事業計画案ならびに予算案が承認された。また、新事務局長に青島啓二氏が承認され、新体制がスタートしました。二十九年度各部門においての当協会所属選手の活躍を紹介します。

小学生部門では佐野・安竹ペア(富士宮少年団)及び青山倫大選手(doux)

中学生部門では都道府県対抗全日本中学生大会に鈴木義健選手(富士宮二中)が静岡選抜の代表選手として出場、県中学校対抗ヨネックスファイナルにおいて男子個人の部で赤池・鈴木ペア(北山中)、塩谷・深澤ペア(北山中)が三位に入賞した。

高校生部門では県高等学校総合体育大会にて男子個人の部で岡部・山口ペア(富士宮北高)が優勝、男子団体の部で富士宮北高が優勝、東海高等学校総合体育大会にて男子団体の部で富士宮北高が準優勝し、個人団体共に全国大会に出場した。また国民体育大会に佐野恭

馬選手(富士宮北高)が出場、ハイスクールジャパンカップ、ダブルス女子の部に奈良阜選手(富士見高)が出場した。

シニア部門では東海シニア選手権において男子六十五の部で松本・石田ペア(大成・市役所)が優勝、女子七〇の部で長谷川三世子選手(宮ク)が準優勝、全日本シニア選手権において混合七〇の部で長谷川三世子選手(宮ク)が三位、男子六十五の部で松本・石田ペア(大成・市役所)が三位に入賞した。また、全日本レディース決勝大会に長谷川三世子選手(宮ク)が出場、日本マスターズに遠藤広美

選手(大成)が出場と多くの選手が活躍した年でした。静岡県ソフトテニス連盟から、松本登志雄選手(大成)、石田秀明選手(市役所)、長谷川三世子選手(宮ク)が優秀選手表彰、富士宮北高男子が優秀チーム表彰を受賞、富士宮市体育協会から、松本登志雄選手(大成)、石田秀明選手(市役所)、長谷川三世子選手(宮ク)、遠藤広美選手(大成)が優秀選手表彰を受賞したほか、十八人もの中学生在が奨励賞を受賞しました。

平成三十二年度に浜松市(花川)にて開催される全国中学校ソフトテニス大会を見据え、昨年度から協会組織の中にジュニア強化部を新設し、富士宮市内のジュニアの強化を図り、一人でも多くの全国選手を輩出したいと考えています。

今後も選手育成をはじめソフトテニスの町富士宮の発展を目指していきますので、関係者のご支援、ご協力を頂きます様宜しくお願い申し上げます。

弓道連盟

弓道をしてみませんか
 昨今では、テレビドラマやアニメ等で、「弓道」が取り上げられ、身近に感じられる様になりつつありますが、まだまだ馴染みの薄いスポーツであると思われ

馬選手(富士宮北高)が出場、ハイスクールジャパンカップ、ダブルス女子の部に奈良阜選手(富士見高)が出場した。

シニア部門では東海シニア選手権において男子六十五の部で松本・石田ペア(大成・市役所)が優勝、女子七〇の部で長谷川三世子選手(宮ク)が準優勝、全日本シニア選手権において混合七〇の部で長谷川三世子選手(宮ク)が三位、男子六十五の部で松本・石田ペア(大成・市役所)が三位に入賞した。また、全日本レディース決勝大会に長谷川三世子選手(宮ク)が出場、日本マスターズに遠藤広美

奥行きが深い、日本古来の武道であります。

初心者、又は、久しぶりに弓道を始めたい方は、次の二通りの方法があります。

一、富士宮市教育委員会主催の弓道教室に入校して、

馬選手(富士宮北高)が出場、ハイスクールジャパンカップ、ダブルス女子の部に奈良阜選手(富士見高)が出場した。

シニア部門では東海シニア選手権において男子六十五の部で松本・石田ペア(大成・市役所)が優勝、女子七〇の部で長谷川三世子選手(宮ク)が準優勝、全日本シニア選手権において混合七〇の部で長谷川三世子選手(宮ク)が三位、男子六十五の部で松本・石田ペア(大成・市役所)が三位に入賞した。また、全日本レディース決勝大会に長谷川三世子選手(宮ク)が出場、日本マスターズに遠藤広美

弓道は、「礼に始まり、礼に終わる」と言われ又、「射は仁の道なり、射は正しきを己に求む」の如く、「弓道は、人との勝負ではなく、自分自身の心との闘い」と言えます。

この様に、精神修養と品格形成の修練とを併せ持つ

馬選手(富士宮北高)が出場、ハイスクールジャパンカップ、ダブルス女子の部に奈良阜選手(富士見高)が出場した。

シニア部門では東海シニア選手権において男子六十五の部で松本・石田ペア(大成・市役所)が優勝、女子七〇の部で長谷川三世子選手(宮ク)が準優勝、全日本シニア選手権において混合七〇の部で長谷川三世子選手(宮ク)が三位、男子六十五の部で松本・石田ペア(大成・市役所)が三位に入賞した。また、全日本レディース決勝大会に長谷川三世子選手(宮ク)が出場、日本マスターズに遠藤広美

弓道は、「礼に始まり、礼に終わる」と言われ又、「射は仁の道なり、射は正しきを己に求む」の如く、「弓道は、人との勝負ではなく、自分自身の心との闘い」と言えます。

この様に、精神修養と品格形成の修練とを併せ持つ

馬選手(富士宮北高)が出場、ハイスクールジャパンカップ、ダブルス女子の部に奈良阜選手(富士見高)が出場した。

シニア部門では東海シニア選手権において男子六十五の部で松本・石田ペア(大成・市役所)が優勝、女子七〇の部で長谷川三世子選手(宮ク)が準優勝、全日本シニア選手権において混合七〇の部で長谷川三世子選手(宮ク)が三位、男子六十五の部で松本・石田ペア(大成・市役所)が三位に入賞した。また、全日本レディース決勝大会に長谷川三世子選手(宮ク)が出場、日本マスターズに遠藤広美

体操協会

世代交流体操教室
 昨年、10月より「体育館補修工事」にて、6ヶ月間、世代交流体操教室を休会致しました。

その間、体力の維持、体調管理を各自にお願い致しましたが、私自身、体調管理がこれ程難しい事とは思いませんでした。

年齢、70才に近づきますが、体重の増加、足、腰、腹筋、背筋等の衰えを感じる様になる。

やはり、毎週連続して、体操教室にて汗をかき、シヤワーの後の一杯を楽しみに、そんな感じで27年間経過してしまいましたが、そんな些細な事が一番健康に良い

馬選手(富士宮北高)が出場、ハイスクールジャパンカップ、ダブルス女子の部に奈良阜選手(富士見高)が出場した。

シニア部門では東海シニア選手権において男子六十五の部で松本・石田ペア(大成・市役所)が優勝、女子七〇の部で長谷川三世子選手(宮ク)が準優勝、全日本シニア選手権において混合七〇の部で長谷川三世子選手(宮ク)が三位、男子六十五の部で松本・石田ペア(大成・市役所)が三位に入賞した。また、全日本レディース決勝大会に長谷川三世子選手(宮ク)が出場、日本マスターズに遠藤広美

馬選手(富士宮北高)が出場、ハイスクールジャパンカップ、ダブルス女子の部に奈良阜選手(富士見高)が出場した。

シニア部門では東海シニア選手権において男子六十五の部で松本・石田ペア(大成・市役所)が優勝、女子七〇の部で長谷川三世子選手(宮ク)が準優勝、全日本シニア選手権において混合七〇の部で長谷川三世子選手(宮ク)が三位、男子六十五の部で松本・石田ペア(大成・市役所)が三位に入賞した。また、全日本レディース決勝大会に長谷川三世子選手(宮ク)が出場、日本マスターズに遠藤広美

馬選手(富士宮北高)が出場、ハイスクールジャパンカップ、ダブルス女子の部に奈良阜選手(富士見高)が出場した。

シニア部門では東海シニア選手権において男子六十五の部で松本・石田ペア(大成・市役所)が優勝、女子七〇の部で長谷川三世子選手(宮ク)が準優勝、全日本シニア選手権において混合七〇の部で長谷川三世子選手(宮ク)が三位、男子六十五の部で松本・石田ペア(大成・市役所)が三位に入賞した。また、全日本レディース決勝大会に長谷川三世子選手(宮ク)が出場、日本マスターズに遠藤広美

バスケットボール協会

第三十八回市民スポーツ祭バスケットボール大会は、本年も、小学生の部、中学生の部、一般高校の部の三部門で行われました。

中学校男子の部は、八チーム参加し、優勝は、富士宮一中、準優勝富士宮四中、第三位は、富士根北中と大富士中でした。

女子の部は、十一チーム参加し、優勝は、富士宮四中、準優勝西富士中、第三位は、富士宮一中と北山中でした。

ミニバス大会男子の部は、七チーム参加し、優勝は、富士見、準優勝富士根北、第三位は、貴船と大富士中

した。女子の部は、八チーム参加し、優勝は、貴船、準優勝大富士、第三位は、富士根南、富士見と富丘でした。

一般高校の部では、男子の部には、三十一チーム参加し、優勝は、ブラックリストが初めて優勝しました。

準優勝は、スポーツスC、第三位は、キラビーとテキラでした。

女子の部は、三チームが参加し、優勝は、レンゲ、準優勝ビームスでした。

月三日の両日にわたり、裾野市民体育館で開催され、富士宮代表として出場した

ブラックリストチームは決勝戦で三島市のストロングユニオンチームに敗れ準優勝でした。女子の部は出場しませんでした。東部各市

を持ちまわりで行っているこの大会は、本年は、第十二回を迎え、十一月二十五日(日)と十二月二日(日)に当市が当番で、市民体育館で行うことになっております。

毎年三月に行っておりました会長杯争奪大会は、本年は、市民体育館改修工事のため、会場が確保出来ずやむをえず中止となりました。創立五十三周年目を迎えた

本年も、中学部会では、中体連大会をはじめ、市内大会のスポーツ祭、新人戦大会、会長杯大会の他県協会

長杯東部大会、中学校東部選手権大会参加にむけ、頑張る練習に励んでいます。

一般各チームも、スポーツ祭大会(九月十六日、九月二十三日)、会長杯争奪大会(三月三日、三月十日)出場にむけ練習に精を出しています。又十一月には、

当市体育館で第十二回県東部フェスティバル大会が行われますので出場めざし頑張る練習に力を入れていきます。今年も多くは大会が市内で行われますが、選手への応援に会場に足を運んでいただきたいと思います。

スケート協会

冬の祭典、第二十三回冬季オリンピック平昌(ピョンチャン)大会、日本は史上最多、十三個のメダルを獲得その中で、スピード女子選手は六個のメダルを獲得、大活躍であった。これも選手の努力は勿論、指導者、国や民間企業スポーツの支援があったことがあげられる。

インラインスケート部が富士宮市スケート協会へ加入して、三年目を迎える、この度NHK総合テレビ静岡で、紙の町富士宮レクリエーション新スポーツ発祥の地として「ペーパーホッケー」の放映があった。

「ペーパーホッケー」は、ホッケーというスポーツに馴染みのない地で、創意工夫から生まれた新しいスポーツで、インラインスケートを履いて、段ボールのクッション性のある特性を活かした、スティックを使って、紙で作ったパックでゴールを目指す、子ども



から大人までが一緒に楽しめる、レクリエーションユースポーツで「自分で考えて作って遊ぶ」をモットーに手軽で楽しいホッケーを目指して、市スケート協会が普及振興を図っている。これがアイススケート普及にもつながって行くことを望んでいる。昨年十二月二十九日、富士急ハイランドスケートリンクで、第十回県スピードスケート競技会が開催、富士宮市からは四名の選手が出場、全員上位入賞した。平成二十九年度開催のスケート教室には四十八名の受講者が集まり、全員ケガなく無事に終了することが出来ました。受講者募集は十月中旬より始まります。市体協ホームページにてPRしております。

柔道会

富士宮柔道会の活動状況をお知らせいたします。本会は柔道の発展と普及、同時に市民青少年の基礎体力向上と礼儀と人を思いやる人格形成を目的として活動しています。

柔道の代名詞でもある「礼に始まり礼に終わる。」を重視し小学生、中学生、社会人の共通の目的として取組、強い身体と正しい礼儀を身に付けさせるを伝統とし日々稽古に励んでいます。

稽古内容はボランティアの有段者指導員が中心となり週三回(水、金、日)七時から九時まで(小学生は八時まで)行っています。

会員は幼児から小学生が四十一名、中学生二十四人、高校生十七人、社会人五十人の会員が在籍しています。本会はいわゆる町道場であり、家庭の崩壊、学校教育の限界が叫ばれる中、これからの地域社会における町道場の役割は、武道伝習所のみならず武道を通じ

て人間教育の場であり地域の場でもあらねばなりません。柔道は相手と組み合う武道です。つまり相手と正しく取り組むという事は勉強に取り組む、仕事に取り組む、困難な問題に取り組むということ、何事にも共通する大切なこの姿勢を学ぶことができる武道、それが柔道です。まずは道場(市民体育館内)をのぞきにきてください。入会された方はそれぞれ自分の目標に合わせて楽しんでいきますし女性の護身術、体力向上にもおすすめです。子供

さんと一緒に始めよう。柔道を通じて色々な出会いと交流を楽しめる場になる町道場を目指した活動を行います。



子どもから大人までが一緒に楽しめる、レクリエーションユースポーツで「自分で考えて作って遊ぶ」をモットーに手軽で楽しいホッケーを目指して、市スケート協会が普及振興を図っている。これがアイススケート普及にもつながって行くことを望んでいる。昨年十二月二十九日、富士急ハイランドスケートリンクで、第十回県スピードスケート競技会が開催、富士宮市からは四名の選手が出場、全員上位入賞した。平成二十九年度開催のスケート教室には四十八名の受講者が集まり、全員ケガなく無事に終了することが出来ました。受講者募集は十月中旬より始まります。市体協ホームページにてPRしております。

山岳会

(7) 平成30年 (2018) 7月1日

富士山麓の富士宮の地域山岳会として、60年を越える足跡を残して来ました。日本の岩場の初登争いやヨーロッパアルプス6大北壁登攀争いをした先輩を背負っている山岳会。一方「地域」山岳会で、市体育協会や行政との連携を密にし、地域の登山愛好家の輪を広げるとともに、安全登山の普及に努力している日々でもあります。この地域への活動として、市民バスハイク(市民スポーツ祭登山大会)、夏の富士登山シーズ

ン中の安全登山パトロール、天子山塊の縦走路の草刈り、最近の中学校の林間教室のサポートなどを実施しております。昨今の登山環境は、大きく変わりました。それは、自然をフィールドとする登山ほど、天候の変化に対応を迫られているスポーツはありません。昨今の気象変化の激しさは、山の気象変化も激しさを増しています。国土地理院発行の地形図に新しい記号「雨裂」が表示されているようになったのです。自然の中で活動している登山では、天候の急変が登山者の生命の危機になりかねません。都市のゲリラ豪雨と同じような雨が、山の中で降ること

があります。それを防ぐには、「登山は、晴れたときに楽しもう」をキャッチフレーズにし、天候の急変での気象遭難の可能性が高まることのないかを事前チェックすることが必要になったことを意味しています。それに対しは、1週間前から各山についての詳しい気象予報がネットで公表されている時代になっています。中にはアメリカの気象会社では、世界中の山について個々の山の気象予報を公表、日本では富士山、穂高岳などが対象となつています。それらの事前情報で確認して、登山をする時代になった自覚とその実践する時代です。また、登山用具も日進月歩で、利便性が高く、安全性が向上して製品が作られています。それに伴う技術も進歩しています。そのことを考え、アンテナを高くして、新しい登山用具とそれを使いこなす技術を習得する情報と習得への向学心のある登山家であり続ける登山愛好家であろうとしています。

登山をめぐる環境の変化には、「中高年の登山」ブームが去り、一部若い世代に「登山もいいな」と感じてもらえる輪の広がりの波があります。それは、社会

職場が過密化するなかで、自然の癒し力に触れてリフレッシュしたいと感じる芽があるのかも知れません。最近、入会する若い会員が、山で写真を撮影して、インスタグラムに投稿するため、「インスタ映え」する写真を同じ山行で撮影し新鮮な画像を撮影していただくことで痛感させられています。中高年を中心とする既存の登山が、山脈の縦走、岩壁の登攀、沢登り、自然の風景や高山植物を楽しむ生涯

趣味として楽しむ登山とは違う、自己アピールや自己表現する場が登山である新しい登山の楽しむ感覚の世代が山を訪れていることを自覚しています。そんな若者から、従来の中高年登山愛好家までが、山をそれぞれの感覚で楽しんでいる「オールマイティー登山」を実践する地域山岳会が、今の富士宮山岳会です。そんな登山愛好家仲間に加わりませんか。次の10年へ向け！20年に向け！

スキー協会

市民スポーツ祭スキー大会

平成29年度の市民スポーツ祭の最後に行われるスキー大会が、長野県小県郡長和町にある「プランシユたかやまスキーリゾート」にて、2月18日に開催されました。当日は最低気温が、マイナス15℃となるくらい冷え込んでおり、晴天で絶好のコンディションに恵まれました。

上部ゲレンデ最右翼のパノラマコース(平均斜度17度)に、約30旗の旗門が用意され、そこを小学生未満のサポート付きクラスから小学生、中学生、高校生、成年男子・女子と、各クラス別に大回転を行い、ゴールを目指しました。本年は27名の選手が大会に出場い

ただきました。途中でタイムが測定されない、機材トラブルが発生して、1名が再レースとなりましたが、全員が2本滑って先走っています。今回ある区から初参加をいただきましたご家族がいらつしやいました。ありがとうございます。来年もご参加をいただくと幸いです。

その他の行事

富士宮スキー協会では、スキー大会のように、いかに短時間で、コースを滑り降りるのかを競い合ういわゆる競技スキーと呼ばれる企画を開催しておりますが、安全に、上手に、滑り降りるかを練習する、いわゆる基礎スキーと呼ばれる企画も開催しています。

「ちびっこスキー教室」では、最終日に受講者全員にジュニアパッチテストを受けていただき、滑りを客観的に確認し、参加者がどのレベルにいますかを確認していただいています。次回はおもった上のレベルを目指すきっかけとなることを願っています。

水泳協会

水泳協会

基礎スキーについて、小学生を対象にした「ちびっこスキー教室」を本年は1月28日、2月4日に、また、同じ日程で、中学生以上の大人の方々に対象にした、「大人のためのスキー教室」をスノータウンイエティスキー場にて開催し、23名の方々にご参加いただきました。

「ちびっこスキー教室」の一部ですが富士宮スキー協会は今後も様々なイベント・行事を取り揃えスキーを通じて皆様と楽しい時間を共有できればと考えております。協会の活動についてはHPでもご覧いただけますので併せてご確認ください。

2月11日には、市民スポーツ祭スキー大会と同じプランシユたかやま会場で、「レッスン&フリースキーツアー」を開催、一級のパッチテストを行いました。また、シーズン初めの初滑り、温泉スキーツアーなどの企画を行っています。

昨年、水泳協会は発足30周年を迎えました。そこで、記念行事として、9月10日(日)に市民水泳大会終了後、水中パフォーマンクス集団のトゥリトネス公演を行いました。市民プールの屋内水泳場は、多くの観衆で埋まりその熱気で大変盛り上がりました。特に、子供たちにとっては水中から現れた団員に向かって水鉄砲で水をかけるなど、工夫を凝らした演出で一体感があり、楽しめたようでした。今後水泳教室では水泳の普及と参加者の健康増進を図りたいと思います。他競技をされている方にとってはトレーニングの一環としても好適です。より多くの参加者を期待しています。また、市民水泳大会と室内水泳大会を同時開催としております。主に小・中・高校生が参加されますが、水泳に興味を持たれた一般の方も参加歓迎です。他者と競うのではなく、自分の記録に挑戦できるのも大会の魅力の一つでもあります。

バレーボール連盟

連盟の特色である小、中、高、社会人四部門の連携は二十九年度も定例化した活動を部門毎に実施し、東部大会や県大会等で良い成績を残した。小学生部門では第三十七回全日本バレーボール小学生県大会に男子の部で富丘フレンズ、女子の部で富士根南、混合の部で大富士と貴船チームが出場、大富士チームが優勝し八月の全国大会(東京体育館)に市長の激励も受けて出場し健闘した。又貴船も県第三位と活躍した。更に、第四十六回県小学生バレーボール大会兼スポーツ少年団交流会東部地区予選では混合の部で大富士が優勝、二位根北、三位貴船と富士宮勢が独占した。これらの活躍は小中バレーボール教室での高校生からの指導や少年団が毎年実施の交歓合宿(二泊二日、御殿場青少年交流の家、約二百人)での交流・規律行動・友達作りで技術力向上やチームワークの造成に役立ち成績向上に繋がって居る事が明らかである。

中学部門では、秋季東部選手権大会で男子の富士宮第四中学校が優勝し、勢いで一月の県中学校新人バレーボール選手権大会で第三位となり東海大会の出場権を獲得、富士根南中男子も富士宮対決となりベスト8位と両校が活躍した。三月の東海新人大会(名古屋市・緑スポーツセンター)では東海強豪チームと戦いベスト十二位と善戦活躍した。高校部門では、高校総体県大会に女子で星陵・富岳館高校、男子で富士宮東高校が会場し、星陵がベスト八位と実力を発揮した。県新人戦では女子の富岳館・星陵・富士宮東高校、男子の富士宮東が会場した。全日本選手権では富岳館がベスト八位と健闘、それぞれチームが確実に力を付けてきており更に良い成績を残せる様、日々練習に励んでいる。

社会人部門では、市民スポーツ祭兼静岡スポーツフェスティバル・連盟会長杯バレーボール祭の三大大会を開催。親睦(混成)の部に統一した大会を運営して居る。二十代から六十代の参加者の中、年々参加チームも増え今年度は平均三十チームの参加が有った。若手チームからベテランチーム、様々の選手がコート上で和気あいあいムードの中、白熱した試合が繰広げられています。何と言ってもこれらの部門を取り纏めている伏見由治会長の経験や人脈・包容力が結び付きを強くし、発展・継続・強化に繋がって居る。

平成三十年度には、会長の念願でもあるこれら四部門の選手達が全員集結した「バレーボール祭」を計画検討中である。



全日本選手権大会出場の大富士バレーボールスポーツ少年団

相撲連盟

富士宮市相撲連盟は、昭和39年に設立され多くの諸先輩のご尽力・ご支援やご協力により、相撲競技発展・普及を図り、青少年の健全育成と人格陶冶並びに国民体位の向上を図ることを目的に積極的に活動しています。

大会結果についてお知らせ致します

○第15回 小中学生相撲木曾福島町七笑相撲場
日程：平成29年4月23日(日)
成績：団体▽低学年の部
ベスト8 (吉野俊太朗、武井晶大、渡邊泰斗)
個人▽4年生・篠原来暉
優勝

○第38回 富士宮市民スポーツ相撲大会兼第24回わんぱく相撲富士宮大会(富士宮北高相撲場)
日程：平成29年5月14日(日)
10:00
成績：各学年優勝者1年▽比嘉柚稀(東) 2年▽後藤蘭花(北山) 3年▽吉野俊太朗(山宮) 4年▽篠原来暉(柚野) 5年▽武井銀士(富丘) 6年▽松本莉音(貴船)



第18回東海地区中学校バレーボール新人大会に出場した富士宮市立第四中学校男子バレー部

○第38回 静岡県子供すも大会(焼津市営相撲場)
日時：平成29年5月28日(日) 9:30
参加者：団体・先鋒・篠原来暉 中堅・渡邊泰樹 大将・武井銀士 成績：幼児(年長)・優勝 加藤朱音、2年生・準優勝 武井晶大、3年生・準優勝 吉野俊太朗、5年生・優勝 武井銀士、3位 渡邊泰樹 少年選手権：武井銀士 3位 団体：3位

○第26回 わんぱく相撲県大会(富士宮北高相撲場)
日時：平成29年6月18日 9:00
成績：4年 植松恒太(富丘) 5位 5年 武井銀士(富丘) 優勝、6年 松本莉音(貴船) 4位、女子5年生 参河よしの(3位男子) 5年 武井銀士(富丘) 6年 松本莉音(貴船) 全大会出場!!

○第33回 わんぱく相撲全国大会(両国国技館)
日時：平成29年7月30日(日) 8:30
出場者：5年生 武井銀士(富丘) 6年生 松本莉音(貴船) 成績：5年生 武井銀士(富丘) ベスト8 (2年連続) 6年生 松本莉音(貴船) 3回戦敗退 ※団体 お茶静岡 5位

○第39回 富士宮市少年相撲選手権(富士宮北高相撲場)
横綱決定戦▽横綱 渡邊泰樹(大宮小5年) 大関 武井銀士(富丘小5年) 関脇 伊藤龍生(北山小6年)、小結 吉野俊太朗(山宮小3年)

○第72回 国体静岡県選考会・第67回東海相撲選手権大会静岡県選考会(富士宮北高相撲場)
日時：平成29年6月25日(日) 10:00
出場者：成年▽望月健太、田村龍一、西本雄大 成績：一般▽西本雄大 5位 国民体育大会 予備選手選出 西本雄大、東海相撲選手権大会出場・西本雄大

○第11回 しずおかスポーツフェスティバル(磐田市若宮神社相撲場)
日時：平成29年9月24日(日) 10:00
成績：団体・富士宮 準優勝(加藤朱音、渡邊泰斗、吉野俊太朗、渡邊泰樹、三

本雄大)
○第52回 静岡県相撲選手権(焼津市営相撲場) ○第20回 静岡県女子相撲選手権大会
日時：平成29年7月2日(日) 10:00
成績：団体：2位(望月健太、田村龍一、加藤耕市) 個人 優勝 加藤耕市

○第67回 東海相撲選手権・第20回東海少年相撲選手権(県藤枝武道館相撲場)
日時：平成29年8月27日(日) 10:00
出場者：▽小学5年生 武井銀士 一般 出場者 西本雄大、成績：武井銀士 優勝 ※12/3 両国国技館 第31回全日本小学生相撲大会へ出場

○第40回 静岡県少年相撲選手権(城北公園相撲場)
日時：平成29年9月3日(日) 9:30
出場：団体▽出場 富士宮(篠原来暉・武井銀士・渡邊泰樹)
成績：団体・三位 幼児年中・年長の部▽優勝・加藤朱音、2年生の部 二位 武井晶大、三位 渡邊泰斗 5年生の部 優勝 武井銀士、三位 渡邊泰樹

森大輔、加藤耕市) 個人・幼児年長の部…優勝
加藤朱音、3年生の部…
2位 吉野俊太郎、5年生
の部…優勝 渡邊泰樹
○第6回 富士宮市幼児す
もう大会 (富士宮北高等
学校相撲場)
日時…平成29年10月28日(土)
9:00
成績…優勝 長畑昂成(芝
川リズム)、準優勝 加藤
朱音(西富士宮幼稚園)三位
渡井健太(西が丘幼稚
園)、二位 井出康太(富
士宮北幼稚園)
幼児では加藤朱音(西富
士宮幼稚園)県内3大会で
優勝しました。
小学生の部では、武井銀
士(富丘小5)が市大会・
各県大会で優勝し市内大会
と県大会では小学1年生か
ら負け知らずで県内最強の
選手、わんぱく大会全国大
会はベスト8、東海大会で
も優勝し全日本大会へ出場
ベスト16に輝き立派な成績
を残しております。
同学年で渡邊泰樹(大宮
小5年)は市内少年選手権
で横綱、しずおかスポーツ
フェスティバルで個人優勝
をしております。
この同学年武井、渡邊は
良きライバルで今後の大会
で優勝を争うようになると
思います。
また、今年度も女子の活
躍が目立っており、篠原来
瞳(柚野小3)が木曾福島
大会で優勝、市内選手権で



も優勝を果たしています。
一般の部では、西本雄大(A
LSOK静岡)選手、が国
体予選の個人戦で5位国体
予備選手に登録され、東海
選手権にも出場しておりま
す。また、県選手権で加藤
耕市(静寿会 旭ヶ丘)選
手が個人優勝しました。
幼児から一般まで幅広く
活躍した一年でした。
連盟としても豊富な指導
者の下、毎週月曜日・木曜
日に富士宮北高相撲場にお
いて、「相撲教室」を主催
しており、現在、近隣の幼
児・小・中学生25名が参加
するなか、日夜、相撲道を
通じ青少年の健全育成に励
んでおります。
本年度も、多くの大会に
参加予定しており選手の活
躍が見込まれます。
今後も更なる向上を目指
し、相撲連盟・関係機関が
一丸となって相撲道の発展
に努力・精進していく所存
です。

バドミントン協会

富士宮市バドミントン協
会は協会主催の大会七回と
市民スポーツ教室三十一回、
ジュニア強化小学生・中学
生を実施しています。スポ
ーツ教室は毎回昼と夜に二
〇〇名以上が参加していま
す。
平成二十九年度全国大会
においての結果は以下の通
りです。第六十八回高校総
体(山形県)男子団体、女
子ダブルスに星陵高校が出
場、第四十七回全国中学校
(佐賀)に星陵中男子が団
体戦、個人戦ダブルスに出
場しそれぞれベストエイト
に又富士宮四中男子も個人
戦ダブルスに出場しました。
社会人では佐野明彦が昨年
に続き第三十四回全日本シ
ニアにて六〇歳以上男子ダ
ブルス二位、シングルス三
位に輝きました。第三回日
本障がい者(知的障害)選
手権男子ダブルスでは渡辺
力・遠藤聖也組が優勝しま
した。
当協会は今年、平成三〇
年で創立五〇年を迎えまし
た。四月二十二日富士宮市
民体育館にて富士宮市長様、
富士宮市体育協会会長様、
静岡県バドミントン協会の
長様他ご来賓、ご招待者様
小学生、中学生をはじめ県
内より約六〇〇名の参加を
得て創立五〇周年記念式典
及びイベントの開催をいた

しました。エキシビジョン
ではヨネックス選手、地元
高校生、中学生によるゲー
ムで大変盛り上がりました
又ヨネックス選手による教
室では、高度なテクニク
を分かりやすく丁寧に解説
してもらいレベルアップに
役立てたかと思えます。イ
ベント終了時に全員での集
合写真にて更なる協会発展
を誓いました。
創立当初より企業・団体
様など多くの皆様に支えら
れ活動してまいりました。
今後も更なる努力を続けて
行きたいと思えます。
心より厚く感謝申し上げ
ます。



ゲートボール協会

生誕一〇〇年に向けてリ
フレッシュゲートボール全
国ゲートボール大会二〇一
八年第14回大会4月11・12
日東日本各地最大級の大会
計一五チーム全国各地か
ら参加して開催。富士宮愛
好会参加、予選、準決勝、
決勝トーナメント戦進出し
準決勝で敗れる。4月17日、
竹の子祭りGB大会二十四
チーム富士宮市から三チー
ム参加。優勝芝川、準優勝
稲子、第三位宮原。第51回
静岡県ろうあ者体育大会が
富士宮市でゲートボール大

会外神スポーツ広場で審判
巡遣協会から一級審判員か
ら五名協会で4月15日障害
のある人、ユニバーサル・
スポーツとしてすばらしい
大会。浜松チーム優勝、富
士宮市GB協会はゲートボ
ール街作りから三年目市各
地域から約四〇名の毎月一
回、交流会を芝川スポーツ
広場と支部ゲートボール場
で実施。反省として、正し
いルールを身につける審判
養成があげられます。審判
講習の形で交流会実行員の
各地域の当番制で、4月26



日富士年金協会富士宮支部
会員GB大会①白糸②芝川
③田中チーム、富士宮市ゲ
ートボール協会、平成三十
年総会総合福祉会館で四月
二十四日事業報告、収支決
算報告、年間事業計画、予
算案、本年度の役員等、承
認されました。
協会の指針、技術より先
に楽しさを伝えることが大
事、地域と手を携えたゲー
トボールの普及振興を本年
度がスタートしました。公
益財団法人 日本ゲートボ
ール連合会長が新たに椎川
忍
問合せ等 連絡先 事務局
六七・〇四五 一 石川迄

武術太極拳連盟

武術太極拳の特徴は(柔能く剛を制す)の通り小さな力で大きな力を制する為に相手の力の大きさと方向を察知し柔軟な動きで相手の力と方向を外し自分の力を最も合理的に使う高度な技法であり、それを会得するためにはまず心身をリラックスさせ意識で身体の動きをコントロールする、呼吸と組み合わせるゆつくり柔らかく行う、年配者や虚弱体質の人でもその人の体力に合わせて行うことができる。理想の太極拳とは「伸びやかで大きくゆつくりと

した動作で連続として滞りなく、柔らかい動きのなかに攻防の技を組み合わせており、優雅な動きの中で精神が集中している。」
太極拳の練習の心構えと特徴
●呼吸を重視して行う、●筋肉の隅々にまで意識が行き渡る運動である、●身体の左右均等の運動で全身運動ある、●等速性の運動でゆつくりと気持ちの良く行う、●強度的には軽度な運動であるが質的には技術性の高い運動である、●体力、技術に応じそれぞれのペースで行うことができる、●

場所を選ばず、誰でも、いつでも手軽にできる、
二〇一七年度第二十四回武術太極拳演武大会は平成二十九年九月十七日(日)午前十時より富士宮市民体育館武道場で、体育館支部、北部支部、西部支部、中央支部で、曲も自由で演歌あり、クラシックあり、円になつて行ったり試行錯誤して楽しく演武を行い、有志による太極剣も披露され楽しく行われた。
練習期間三年、五年、七年、十年の表彰者が発表された、二〇一七年度の表彰者は次の通りです。●三年表彰(体育館支部)小林貴美子、●五年表彰(体育館支部)望

テニス協会

<http://www.geocities.jp/fujinomyalc/cta.html>

テニス協会は、今年でいよいよ発足二十八周年目を迎えました。これも日頃から大会参加者及び役員などのテニスに関わる多くの方々のご協力と地道な活動の賜と思います。この場をお借りしあらためて御礼申し上げます。

さて、今年も多くの行事を実施しながら、「市民ひとり一スポーツ」に根ざした地道な活動を続けています。その内容は、十四もの事業を計画し推進しています。恒例の春のテニスの日及びテニス教室、ジュニア

テニス教室は、ジュニアから一般、シニアの方まで幅広い年齢層を対象に、多くの参加者を得てテニス教室などを実施しました。大会としては、シングルス選手権大会、ダブルス選手権大会、ミックス大会、チャレンジャーズ大会、ジュニア選手権大会、チーム対抗戦、団体戦、シニアテニス大会と各レベル及び年齢別に実施する大会を多く計画し実施しています。昨年は、のべ約千三百人を超え過去最高にせまる参加者を得ることができました。また、ジュ

ニア大会は県内より、今年も多く参加を得て充実してきました。地元富士中学校のテニス部の活動を応援しながら、更に参加者が増え強化普及に繋がるよう進めていきます。
平日を利用したテニス教室及びジュニアのテニス教室も実施してきました。テニスを始めたいけどなかなかさういう場がなく探している方、自分のペースでテニスを始めたい方、是非この機会に参加してください。
テニス協会では、これからも、この富士山を郷土として多くの選手が活躍できるように、応援していきます。最後に、行事の案内及び結



果等の情報発信にはHP及びフェイスブックも利用し充実してきました。こちら是非ご覧ください。



月明子、●七年表彰(中央支部)篠原衣世、(北部支部)前矢部恵子、(西部支部)前島進、小林英明、渡辺彰文、●十年表彰(体育館支部)大倉祥司、(中央支部)村野寿恵。

家庭婦人バレーボール連盟

家庭婦人バレーボール連盟創立四十周年記念総会を、四月一日安藤記念ホールで開催しました。歴代会長を始め、四十年間活躍し続けている会員、今年度登録四十三チームの代表等約二百名の出席がありました。
地域のPTA有志で始めたママさんバレーボール。初めはネットもコートも無い中、ネット代わりに物干し竿を使用し、麦わら帽子に手拭いの頬っぺりというスタイルで、屋外でゴムボールを追ったという思い出

話を、連盟産みの親の一人でもある高山名誉会長に語って頂きました。
今年度も連盟主催の六回の大会とシニア大会・審判研修会・市民スポーツ祭と行事が目白押しです。その中でも、市民スポーツ祭への参加チームが年々減少していることは大変残念です。各区体育委員・連盟会員の皆様の御協力を得ながら、バレーボール人口を増やすことができればと思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。

ゴルフ連盟

富士宮市ゴルフ連盟の事業として、富士宮市民スポーツ祭・区対抗ゴルフ大会や富士宮市アマチュアゴルフ大会の企画及び運営を行っております。区対抗ゴルフ大会は、昨年も多くの参加を頂き、三日間で五百二十名を超える市民参加の大会となり、参加区も六十一区を数え市民皆様の大会として定着してまいりました。昨年より大会名が変更となった富士宮市アマチュアゴルフ大会も多くの市民が日頃の腕前を競う個人戦として実施しています。また、

今年も五月に第百三回を迎える静岡県都市対抗ゴルフ選手権(主催静岡県ゴルフ連盟)が二十四市町村約百六十名の参加選手によって開催されます。当連盟からも六名の選手が参加いたします。代表選手が日頃の練習の成果を発揮できるように協会一丸となって応援しております。今後はジュニアゴルフアーやトップアマの育成を含め、アマチュアゴルフアーの底辺を広げるため、普及活動に尽力いたします。

富士宮市ハンドボール協会

昨年度、富士高校女子ハンドボール部が2年連続県大会を制し、全国高校総体に出場しました。チームの中には本協会の教室で活動していた生徒もいます。惜しくも1回戦敗退となりましたが、全国の舞台で活躍している彼女たちの姿は輝いていました。

今年度は、2月11日に日本リーグ(男女1試合ずつ)が富士宮市民体育館で開催

グラウンド・ゴルフ協会

みなさん今日は!!お元気ですか。私達、協会は去る4月20日、平成30年度の総会を開催いたしました。議案は、昨年度の事業報告・収支決算を承認後、本年度の事業計画・収支予算案を満場一致で承認しました。尚、本年は役員改選時期でもあり、新しいメンバーが承認されスタートを切りました。

特に新しい役員の布陣として、井出由記子さんが副会長兼女性部長に就任し、副事務局長に山本修久さん、事務局次長に山中豊さん、会計補佐に望月利浩さん等が加わりました。女性部の誕生につきまは、協会の長い間の懸案

会人リーグで活躍している富士宮ハンドボールクラブも活動しています。

これからも、教室や大会誘致の活動などを通じてハンドボールの魅力を多くの市民に伝えていきたいと考えています。

岳南地域の地元高校には、他地域に比べてハンドボール部が多くあります。富士高1男女、富士東1女、吉原1男、宮東1男、星陵1男、富士見1男です。また、社

事項でしたが、設立12年目に実質的な活動を女性自身の手で展開する事になりました。具体的な活動として、11月に行われる第2回の岳南レディス大会を計画・募集・大会の運営等を自らの手で実施します。その他、県協会からの要請や協力対応、J.A女性部の大会サポートをはじめ協会に対して、女性の目線で意見・具申を行っていきます。

今年度も、4月12日に行った第6回富士山カップ杯を皮切りに、5月の富士宮中央ライオンズカップ杯、6月の市民グラウンド・ゴルフ大会、7月には、第39回市民スポーツ祭区対抗戦等、ほぼ毎月外神スポーツ



○電話 市内27-9796 携帯090-1470-8918

富士宮市芝川リバースポーツ協会

自然豊かな川遊びの体験を求めて発足したカヌークラブですが、河川の遊泳禁止により子供たちから川離れが進む現状は淋しい限りです。

富士川の川遊びとカヌー体験、将来の指導者を目指して育成に努めているが、富士川は危険なイメージが強く、現状は限られた参加者となっています。

一度カヌーを自分で操り、富士川を肌で感じていただき、激流下りを味わってみませんか。

を含め二十五艇で子供会、スポーツ少年団、家族、団体成人者、親子、個人の舟艇貸し出しも可能(有料)なので事務局へ。平日利用或いは日曜に個人又は数人での貸し出しも可能で気軽に問い合わせてください。

初心者の体験として乗って直ぐに笑顔に変わり、湖面の滑りを楽しんでいきます。初心者にはカヌーの運搬、乗り方指導から始めますので危険と心配ありません。

全員にライフジャケット(浮き袋)装備、指導者と監視員の配置と参加者は二人一組の指導体制で体験と万全の体制で指導に当たります。

遊泳禁止の河川でも心配ですが指導者が付き添い、川遊びとカヌーの楽しさが理解できます。

保有舟艇はペアーカヌー

代表 四條衍明 六五二〇〇〇
指導者 風岡達也 六五一七四七
事務局 今井博之 六五〇〇五七一

合気道連盟

富士宮市合気道連盟は、合気会公認「啓翔会富士宮」日本建築専門学校「合気道同好会」の団体で構成されている。5歳から65歳まで、老若男女が一緒に稽古し、各大会への出場、昇級・昇段審査合格を目指し、日々精進している。また、昨年度は二回目の市民スポーツ祭合気道演武大会及び合気道体験を開催し、多数の参加者によって、盛大に行われました。今年5月に20日に三回目となる市民スポーツ祭合気道演武大会及び合気道体験を開催、スポー

合気道体験を開催、スポー

ツ教室や講習会なども年間行事として取り組んでいる。合気道とは、開祖植芝盛平翁(1883~1969)が日本伝統の武術を極めさらに厳しい精神的修行を経て創始した現代武道である。合気道はいたずらに力で争わず、入身と転換の体捌きから生まれる技によって、お互い切磋琢磨し合って稽古を積み重ね、心身の練成を図るのを目的としている。合気道は、他人と優劣を競うことをしないため、試合を行わない。お互いを尊重するという姿勢を貫く合気

道はのちの大切さがうたわれる現代に相応しい武道と言える。ゆえに合気道は競技を行わない。お互いの習熟度に合わせて技を繰り返し稽古し、心身の練成を図ることを目的としているので、誰でも稽古ができる。稽古の積み重ねが健康に良いのは言うまでもなく、日常生活において何事にも積極的に取り組む自信が自然と培われてくる。道場には、年齢、性別、職業、国籍を問わず多くの人が集まってくるので、道場は人間理解の眼を深めるために最適な場である。合気道が『和』の武道と言われる所以である。

富士宮市制施行75周年記念

第68回 富士宮駅伝競走大会

第68回富士宮駅伝競走大会は、晴天に恵まれ寒さも和らぎ絶好の駅伝日和となりました。エントリー数は、一般の部169、高校の部18、中学の部17、女子の部18、合計222チームでした。しかし、今大会もインフルエンザが流行している時期であり、棄権したチームは4チーム、オープン参加が1チームありました。午前10時、218チームが勢いよく市役所前をスタートしました。沿道には、たくさんの方の皆さんの温かな声援がありました。

選手は、選手の背中を後押ししてくれました。

1区では、区間総合1位の葦山高校小澤選手、同2位の滋賀学園高の善田選手のすばらしい力走があり、一般選手をおさえてのタスキ渡しが見られました。

一般の部1区では、東京農業大学(以下農大)Cの森選手が、区間1位(総合3位)の走り、農大A(総合4位)の工藤選手に5秒の差を付けてタスキを渡しました。2区では、農大Aの平井選手が前を行く3チームを

位の滋賀学園高善田選手に7秒の差を付け、17分27秒でタスキを渡しました。2区以降は、葦山高と滋賀学園高の一騎打ちとなり、区間ごと順位が入れ替わるという興味深い展開となりました。6区にタスキが渡った時点で、滋賀学園高が葦山高を33秒リードしており、このまま逃げ切るかのよう

に思われました。しかし、葦山高の河田選手は区間総合2位の力走で、一気に滋賀学園高を抜き去りトップを奪い1位(大会新記録)でゴールしました。2位には滋賀学園高、3位には日大三

区間総合24位(19分00秒)の好記録で、2位富士宮第2中佐野選手に27秒差を付けてタスキを渡しました。吉原北中2区本間選手も力走し、3区にタスキが渡ったときには、2位富士根南中に1分29秒もの大差を付けました。しかし、3区富士根南中の吉田選手は、区間総合15位という見事な走り、一気にトップに躍り出ました。富士根南中は残り

3区間もトップをキープし、2時間00分42秒(大会新記録)でゴールしました。2位には御殿場富士岡中(大会新記録)、3位には大富士中Aが入りました。

女子の部では、先の「富士山女子駅伝」で、みごと2位となった東京農業大学Aが優勝候補の筆頭であり、予想通りのレース展開で他を圧倒しました。1区農大Aの棟久選手は、区間総合22位(18分53秒)の好記録でタスキをつなぐと、2区・3区・4区・5区の選手も区間1位の走り、6区保坂選手にタスキを渡ったとき

には、2位農大Bに10分近い大差を付けていました。優勝した農大Aは、今までの大会記録を大幅に縮める1時間56分26秒の大会新記録でした。2位には農大B、3位には加藤学園高Aが入りました。

最後にありますが、大会運営をされた市当局、役員並びに関係諸団体の皆様、ご協力いただいた市民の皆様、厚くお礼申し上げます。本大会が、今後も益々発展するように皆様方のご協力をお願いいたします。

NPO法人富士宮市体育協会
平成三十年度事業等

NPO法人として十三年目を迎えました。昨年度に引き続き体育施設等の管理運営について、地域ステッパーズサービステップアップ事業も行います。四月二十三日に協会加盟各競技団体社員出席のもとに、総会が開催され、平成二十九年事業報告、決算、平成三十年度事業計画及び予算が審議され承認されました。

本年度事業としては、第三十九回市民スポーツ祭の開催、スポーツ団体及びスポーツ少年団活動の支援、大学対抗女子駅伝、市町対抗駅伝大会の協力、体協だよりの発行、しずおかスポーツフェスティバル開催への協力、富士宮駅伝の協力、功労者表彰、体育施設運営、自動販売機管理運営等々の事業を行います。左記役員を中心に市民のスポーツ普及、振興と市民の健康づくりにむけ努力いたしますのでご支援ご協力をお願いいたします。



あつという間に抜き去り、3区にタスキを渡した時には、2位農大Cに34秒の大差を付けて独走態勢となりました。その後も、農大Aは、トップをキープしたまま、2位となった御殿場滝ヶ原自衛隊に2分35秒の大差を付けて栄冠を獲得しました。3位には、農大Bが入りました。

高校の部1区は、区間総合1位の葦山高小澤選手

の走り、同2位の圧巻の走り、同2

平成30年度役員

役職名	氏名
会長	石川 俊
副会長	伏見 由
副会長	川原 崎
副会長	渡辺 徳
副会長	須藤 美
理事	西島 謙
理事	野平 修
理事	野佐 弘
理事	茂子 治
理事	小京 美
理事	山角 昭
理事	清友 男
理事	井出 一
理事	芦勝 昭
監事	渡井 勝